



SOWWG M-36



スペシャルオリンピックス 冬季世界大会

ホストタウンプログラムにご協力いただき ありがとうございました

2月26日(土)から3月5日(土)まで知的障害者のスポーツ大会2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会が、長野県内で開催されました。大会に先立ち、2月22日(火)から25日(金)までの4日間、「ホストタウンプログラム」が実施され、カナダ選手団99名が岡谷市に滞在して、小学校や家庭での交流や練習などを行いました。

11月23日の50万人トーチランから始まった岡谷市でのスペシャルオリンピックスへの支援協力事業には、大勢の市民のみならずにご参加とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

大勢の市民のみなさんの姿は、誰もが人として尊厳を持って生きられる社会、物や心のバリアを取り払ったノーマライゼーションの地域社会を築く大きな契機となることを確信させるすばらしいものでした。

スペシャルオリンピックスは、知的発達障害者にスポーツの機会を提供する日常的な活動です。この大会を機に、障害者に対する、今まで以上のご理解とご支援をお願いします。

ボランティアに参加された
みなさんからの声

スペシャルオリンピックス
ホストタウンプログラム
に参加して

松本 宣佳さん

日頃のスポーツ少年団活動を通して、心身ともに健康な子どもたちと長く接してきた私には、知的発達障害者とは別の世界での事と思っていました。ブラジル選手団のコーチの話が新聞に載っていました。「ブラジルには戸籍のない知的障害者の子どもがいるんです」。家族が障害のある子を受け入れられず役所に届け出ない場合があるんです。「その子は社会的に人として生涯認められないんですね」と語っていました。

現在の日本は知的障害者を本当に平等と権利の基に社会が受け入れているだろうか? 見つめ直すよい機会ではないでしょうか。

カナダ選手団が岡谷に到着、私はバスの誘導係でしたので降りてくるアスリート一人ひとりと握手して、「Welcome to OKAYA!」と言って、笑顔で心から歓迎の意を伝えました。夜は、やまびこスケートの森合宿棟でクロスカントリーのアスリート13名に布団のカバーのかけ方などをやって見せ、みんななどどのように敷布団を並べればよいのか工夫して、何とかうまく収まりました。アスリートのみなさんは明るい、人なつこい、そして陽気。プレッシャーと言うものは無いのかなと感じました。

外見もダウン症の人を除けばほとんど分らないくらいで、夕食も共にすることができ、楽しい一日となりました。帰り際に部屋をのぞいて見たら、持参したハンドカラオケをテレビにつなぎ全員で歌っていました。彼らには、布団も短く、狭い部屋だけれど畳の上での生活は生涯忘れえぬ体験になるでしょう。



4日間ボランティアとして送迎や小学校での交流会、聖火リレー、文化交流会等たくさんさんのプログラムに参加することが出来ました。言葉は通じなかったが、体温のぬくもりを体感し身近さを感じました。

アスリートのみなさんはたくさんさんの日本の文化を体験して日本国の好きさ、長野県の素晴らしさ、岡谷市の優しさ、温もりを感じてくれた事と思います。

そして、私たちに感動と勇気・人の優しさを教え、SO活動を通し周囲や社会の認識を変えていくきっかけを教えてくださいアスリートのみなさんの今後の健闘を祈ります。

コミュニケーションの大切さ

岡谷南高校1年 岡田 遼太

SO(スペシャルオリンピックス)長野大会の一環として市町村が選手団を受け入れ、一緒に交流を図るといふホストタウンプログラムが、ここ岡谷市でも行なわれ、カナダ選手団がやってきました。

僕は以前からこの様な大会があることを知っており、長野で開催されると分かった時は、ぜひボランティアとして参加したいと思っていました。

ただ、その頃からずっと不安に思っていた事が「言葉の壁」でした。カナダの公用語に英語はあるけれど、果たして自分の英語がカナダの人たちに通じるのだろうかと内心不安でした。

でも、このプログラムが始まってその不安は一気に消えました。アスリートたちは僕の片言の英語でも必死に理解しようとしていたのです。そして僕にわかり易い様に話してくれました。このことには非常に深い感銘を受けました。

カナダの方はとてもフレンドリーで、目が合ったら挨拶をして、すぐにちょっとしたお返しを出してくる(笑)。人と「和」を大切にしているんだと実感しました。これは大いに学ぶべき点だと思いました。この他にも今回のプログラムで学んだ事は一晩では語り尽くせないほど多かったです。

今後はこの4日間学んだことを日々の生活の中で活かしていきたいと思えます。

GO! CANADA

諏訪清陵高校2年 小林亜紀江

この4日間は本当に充実していて、本当に楽しかったです。自己満足かもしれないけど、驚くほどボランティアをすることの楽しさに引き込まれてしまいました。

カナダのアスリートやコーチはみんな気さくで優しく面白く、ボランティアをすることに緊張していた私の心をほぐしてくれました。



カナダの金メダリストと喜びを分かち合う通訳ボランティアの3人(左から味澤さん、小林さん、岡田さん)

ボランティアに参加して、アスリートと友達になれて、カナダのことや知的障害のこと、その他いろんなことを学ぶことが出来て良かったです。もちろん、上手いかななくて落ち込んだり、自分の英語力不足でイライラしたりということもあったけど、その倍くらい楽しいこと、嬉しいことがあり、そ

して何よりアスリートの笑顔が私を支えてくれました。

ボランティアとして参加していなかったらSO(スペシャルオリンピックス)はニュースで見ただけの「ただの」SOになっていたでしょう。SOとカナダがすごく「身近な」ものとなったのは、ホストタウンプログラムを一生懸命企画・運営してくれた実行委員会の方々、一緒にボランティアをした方々、そしてカナダのアスリート、みんなのおかげです。ありがとうございました。人生は本当に「一期一会」だとしみじみ実感しました。

Canada Rocks!!

諏訪清陵高校2年 味澤 由妃

カナダ選手団と過ごした4日間は、私にとってすごく不思議で価値のあるものでした。日本という世界でもとても小さな国の、長野県という田舎に、世界84か国から知的障害者のアスリートが集まったスペシャルオリンピックス。広報おみやでボランティアの募集を見た時、やりたい!!と漠然と思っただけでしたが、気づけば、一緒に4日間を過ごしていました。

バスから降りてくるカナダ選手団を見たときのドキドキ、コミュニケーションの難しさを感じたイライラ、一緒に踊ったり、歌ったり、ハグしたり、心が通じていると感じた時の喜び、そして、さよならをしなければならぬ時の悲しみ、この4日間でありとあらゆる気持ちを感しました。

そして今、TVのニュースなどから友達になった選手やコーチの姿を一生懸命見つけてはギャーギャー騒いでいるのです。金メダリスト? 銀メダリスト? なんてかっこいいのだろう。そして私は、何故そんなすごい人たちと出逢えたのだろうか。SOが終わろうとしている今でもなお、その不思議な出逢いに興奮を感じずにはられません。

カナダ選手団と出逢う事で、本当にいろんなことを学びました。フランス語を教えてもらったり、一緒にご飯を食べたりと何をしたわけではないのですが、話や態度の節々から、私達は何もしなくても良いのではないかと思うほど自立した選手達の姿。周りの感情が自分の感情となってしまう繊細な感覚を持っている人。日本の男女差別、宗教に興味を持っている人や日本語で1~10までの数え方を教えただけで99まで数えてしまう人など異なる秀でた才能があること。知的障害者のアスリートにもスポンサーがつくというカナダの知的障害者に対する関心度の高さなど様々なことを学びました。

「一期一会」もう二度と会えない人も中にはいるかとは思いますが、彼ら・彼女達から学んだことはずっと大事にしたいと思えます。どれだけ有意義な4日間を過ごしたのかを考えると、ホストタウンボランティアに参加した自分を誇りに思わずにはいられません。

カナダ選手団をはじめ、このプログラムを通して出逢えた全ての人に感謝しています。ありがとうございました。

Canada Rocks!! SO Rocks!!



“チャレンジ2004” スポーツスクール

岡谷市体育指導委員が企画立案し、実施している人気スポーツ教室、「チャレンジ2004 スポーツスクール」も昨年12月を持ちまして好評のうちに無事終了となりました。入学案内を出すと締切りはまだ先だというのに定員に達してしまう人気ぶりでした。ニュースポーツをはじめ、様々なスポーツが体験できるこの教室。自分にあったオンリーワンを見つけるのにも役にたったのではないのでしょうか。参加されたみなさんの感想をご紹介します。



春の高校バレー長野大会
岡谷工業高校 優勝（2月6日スワンドーム）

春の陽気に誘われて

スポーツをしよう！

大好きスポーツ

長地小学校 3年

三ツ井 夏月さん

わたしは、1年生の時から3年間、チャレンジスポーツスクールにかよいました。コーチや他の学校の人たちとなかよしになって、楽しくスポーツができました。チャレンジスポーツスクールでは、いろいろなスポーツをやりますが、でも、わたしが一番好きなのは、ソフトバレーです。どうしてかというと、パスをしたり、試合をするのが楽しいからです。あと、卓球も大好きで、父さんや母さんといっしょにファミリースポーツデーに練習をしました。バドミントンもやりました。

すごくさんねんだった事が一つあります。それは皆勤賞が取れなかったことです。雨で小宮の御柱が延びたので「岡谷のギネスに挑

戦」にでられませんでした。

他の人が皆勤賞をもらう時、わたしはくやくしてなみだが出そうでした。これからも、チャレンジスポーツスクールに参加したいです。

楽しくできた

スポーツスクール

小井川小学校 5年

小坂 優矢くん

ぼくは、スポーツスクールに入って3回目です。

一番楽しかったのは、エースドッジボールと卓球です。エースドッジボールは入学式の時にやって、たくさんボールをとったり、エースガードになったりしました。卓球は、全然打ち返せなかったけれどだんだん慣れてきて打ち返せるようになって楽しくなりました。

ファミリーフェスティバルの岡谷のギネスに挑戦は御柱と重なって

皆勤賞のみなさん

土田 拓実くん	長地小学校 3年
森 悠くん	長地小学校 5年
津隈 勇人くん	長地小学校 5年
小口 友佳さん	岡谷小学校 4年
小口 涼太くん	岡谷小学校 6年
小島 聖哉くん	小井川小学校 3年
小島 洋希くん	東部中学校 1年
北田 太希くん	小井川小学校 4年
下村 喬大くん	岡谷小学校 5年
下村 奈生さん	岡谷小学校 4年
今井 綾子さん	一般
今井 優樹くん	神明小学校 6年

しまい、参加できませんでした。目標はスポーツを楽しくうまくなることと皆勤することだったけれど皆勤できなくて、とても残念でした。でもすごく楽しかったです。



◆お問い合わせは…
スポーツ振興課
☎ 22-8800
FAX 22-8808



○体育指導委員は「市民ひとり1スポーツ」の実現
や地域のスポーツ振興を積極的に推進します！

スポーツスクール効果

一般参加

今井 綾子さん

昨年、息子2人と共にスポーツスクールに参加させて頂きました。息子たちはエースドッジ、卓球、私はソフトバレー、バドミントンを楽しんでいます。エースドッジはさすがに経験者が多く、上手で大人に活躍の場はありませんでした。キンボールやフットサルなど、チームが一丸とならないとうまくいきませんが、ミスしても「大丈夫！」「ドンマイドンマイ」と発している子どもたちには感心させられました。普段、運動する機会も見つからずにいましたが、色々なスポーツを教えていただき興味を持ったスポーツもあります。長男も今年中学生になりますが、興味を持っていたスポーツがやはり楽しかったと本格的に続けていきたい様子です。休憩中話しかけてくれるお子さんたちもいて毎回笑ってばかりいました。「お母さん、騒ぎすぎて恥ずかしい」と長男には幾度となく釘をさされました。が、毎回元気な子供さんたちに元気の素を分けていただきました。また、新種目が増える事を期待しています。

体育指導委員

視察研修報告

体育指導委員 齊藤 雅代

昨年11月27日、総合型地域スポーツ設立準備にむけて、千葉県県の「習志野ベイサイドスポーツクラブ」へ視察研修に行きました。そこは、「私たちがつくりたい総合型」を模索しながら設立にこぎつけ、丸3年経過した現在は会員数も200人から約3倍の621人に、家族会員は14家族・47人と順調に発展しているとのことです。

今、なぜ総合型地域スポーツクラブなのかというと、少子高齢化や体力の低下、さらにコミュニティの希薄化が進む社会に、年代・性別に関係なく誰でも気軽に生涯スポーツを行える場を作ること、心身の健康、さらに地域住民の親睦を図ることができるところです。

学校は週5日制となり、余暇の過ごし方はとても重要です。岡谷市では第3日曜日をファミリースポーツデーとし、市民総合体育館を無料開放しています。利用者はとても楽しそうです。こんな所から、総合型地域スポーツクラブや市民ひとり1スポーツが実現していけば、と思います。

体育館予約の

調整会議について

学校体育施設の予約調整会議を開催しますので、時間厳守でお集まりください。

5月分 4月17日(日)

◇時間：中学校 午前10時～
小学校 午後1時～

◇場所：市民総合体育館
第一会議室

※会議に参加される際には、必ず「学校体育施設開放利用団体登録許可証」をお持ちください。

おしらせ

岡谷市営庭球場、市営岡谷球場、市民スポーツ広場(川岸スポーツ広場、湖畔広場、今井西広場)の

平成17年4・5月分の専用予約は4月1日(金) 午前9時より市民総合体育館窓口にて受付開始します。

4月ファミリースポーツデー

岡谷市民総合体育館

市民無料開放

日 時：4月17日(日)

午前9時～午後4時

※体育指導委員(3名)がいますので、お気軽に声をかけてください。
※屋内水泳プール・庭球場は有料です。

スポーツ フラッシュ



2/19 第3回岡谷カップフレンドシップ バレーボール大会(中学生の部)

今年最後の大会が開催され、男子7チーム、女子16チームが参加し、熱戦を繰り広げました。男子は岡谷東部中学校が優勝し、V2を達成しました。

みなさんで一緒に学びませんか？

長地公民館 見学・体験会

長地公民館では4月を「学習見学・体験期間」として、各グループの活動を見学、または一緒に学習することができます。ご自分の生涯学習の時間として長地公民館でグループのみなさんと一緒に学んでみませんか？下記日時に直接長地公民館へお気軽にお出かけください。体験学習を希望される方は、事前に長地公民館（☎27-8080）へご連絡ください。

グループ名	活動内容	4月の活動日時	グループ名	活動内容	4月の活動日時
ひまわりの会	革細工	4・18日(月) 19時～	あわじの会	水引細工	13・27日(水) 13時30分～
長地カラオケ教室	カラオケ	1(金)・13日(水) 13時～	すずらんの会1	大正琴	7・21日(木) 19時～
長地暮友会	囲碁	毎週火曜日 18時～	すずらんの会2	大正琴	6日(水) 19時～
		毎週水曜日 13時～	紙彩会	和紙絵	7・21日(木) 13時30分～
水彩画の会	水彩画	26日(火) 19時～	長地水墨俳画の会	水墨俳画	4・18日(月) 10時～、13時～
泉声会	謡曲仕舞	14・28日(木) 9時～	岡谷川柳会	川柳	27日(水) 19時～
トパーズリング	指輪制作	8・22日(金) 19時～	長地手まりの会	創作手まり	7・21日(木) 13時30分～
長地盆栽愛好会	盆栽整枝	毎週木曜日 19時～	風雪諏訪支部	俳句制作	22日(金) 13時～
ミルクークラブ	リトミック	11・25日(月) 10時～	長地民謡愛好会	日本民謡	8・22日(金) 13時～
ログキャビン	パッチワーク	13・27日(水) 9時30分～	長地ポーセラーツ	ポーセラーツ	15日(金) 19時～
スイートピー	フラワーアレンジメント	12日(火) 10時～	フラワービーズ	ビーズアクセサリー	18日(月) 10時～
長地ラタンの会	籐工芸	14・28日(木) 19時～	クラブMGC	マジック	毎週水曜日 19時～
長地オカリナ・カナデル	オカリナ演奏	12・26日(火) 10時～	長地真向会	健康体操	8・22日(金) 19時15分～
長地フォークダンスの会	フォークダンス	毎週月曜日 13時～	エンジェルガールズ	キッズダンス	毎週金曜日 17時～
ほのぼの3B長地	健康体操(3B体操)	毎週木曜日 10時～	マミーエアローズ	エアロピクス	毎週火曜日 11時～
マミーダンベル	ダンベル	毎週木曜日 14時～	長地ダンスの会	社交ダンス	毎週月曜日 19時～

川岸公民館 小中学生趣味の広場

春休みこどもパソコン講座 ～パソコンで何つくる？～

申込み	参加費・材料費を添えて川岸公民館（☎23-2200）へお申し込みください。
参加費	100円（保険料） [※複数受講可]
対象	小中学生（親子での参加大歓迎）
定員	各講座20人（先着順）

持ち物
材料費

はさみ、
のり



場所
川岸公民館 学習室

日時
3月25日(金)

午前9時30分
～11時30分

インターネットからクラフトをダウンロードして印刷したものを、はさみやのりを使って組み立てます。飛行機やバランスゲームなどいろいろあるよ。さあ、なにを作る？

おもちゃクラフト

持ち物
材料費

100円

場所
川岸公民館 学習室

日時
3月23日(水)

午前9時30分
～11時30分

自分だけのオリジナル名刺を作ります。イラストや図形なども入れて、「自分でデザインする名刺」。お友だちに配って自慢しちゃうおう！

手作りマイ名刺



青少年活動に参加しよう!!

～今の青少年に必要な人との関わり、体験活動～

◆青少年活動に関するお問い合わせは…
イルフプラザ・カルチャーセンター
(☎24-8401)
青少年担当まで



★ポイント

高校生・中学生・小学生の縦と横のつながりにより、“協力する”“思いやりの心”を育てる。

★ポイント

- ・ゲームなどを通して「仲間づくり」を行い“人とのふれあい”を豊かにする。
- ・ボランティア協力していただいたみなさんとの交流の中で「生活体験」を行う。



『少年スポーツ大会』キックベースボール



★ポイント

- ・中学生がスポーツを通して地域の人と関わり「仲間意識」を養う。
- ・高校生、中学生が小学生に指導し交流して成長する。

『リーダーズ倶楽部』クリスマス会



美術考古館 特集展

「新収蔵作品展」

期間 5月8日(日) まで

新たに彫刻家武井直也と現代日本美術の最先端を担う日展評議員川崎春彦、郷土の芸術文化振興に寄与しながら国画会会員として活躍中の高橋靖夫、日本現代アートの旗手として、独自の展開をみせている根岸芳郎の作品を展示します。



「地にあるものたち」2004年 高橋靖夫作

蚕糸博物館／美術考古館 ☎☎22-5854

■時間 午前9時～午後5時

■入館料 おとな 350円(250円) こども150円(100円)

■休館日 毎週月曜日、祝日の翌日

() 内は10名以上の団体

※諏訪6市町村小中学生、市内在住・在学高校生は無料